

中小企業景況調査報告書

2021年度第1・四半期（4～6月）

浅野公園



一宮市観光協会提供

目次

調査の要領	1
今期の概況	2
景況に対するコメント	3
景況の推移 前年同期比	4
業種別集計表・新規設備投資集計表（100社）	5
景況の推移業種別集計表 前期比	6
「直面している経営上の問題点」の集計表（業種別上位3位）	7
「直面している経営上の問題点」の集計表（各業種）	8～10
前年同期比のグラフ（各項目）	11～14

The Ichinomiya Chamber of Commerce & Industry

一宮商工会議所 中小企業相談所

調 査 の 要 領

- I. 調査対象期間 調査対象期間は、「4～6月」「7～9月」「10～12月」「1～3月」の四半期毎とする。
- II. 調査実施時期 調査実施時期は、「4～6月」「7～9月」「1～3月」については目安として各四半期二月目の25日から末月の1日とし、末月の1日時点で調査する。また、「10～12月」については、目安として11月10日から15日とし、15日時点で調査する。
- III. 調査の実施
(方 法) 調査は、日本商工会議所の調査様式を用いて調査実施時期に、原則として経営指導員が企業を訪問し、面接・聴き取りにより行う。
- IV. 調査対象企業数 100事業所
- V. 調査対象企業
の業種 次の表のとおり

景況調査対象事業所（100）の内訳

業 種	事業所数
建設業	12
製造業	37
卸売業	10
小売業	16
サービス業	25
合 計	100

- VIII. その他の分析
1. 設備投資 実施状況数
2. 経営上の問題点 各項目をポイント加算
- | | |
|----|-------|
| 1位 | 3ポイント |
| 2位 | 2ポイント |
| 3位 | 1ポイント |

今 期 の 概 況

持ち直しが続くも、予断を許さない。
先行きへの期待感みられるも、警戒続く。

1. 前年同期比D I 値の分析

今期(表1参照)は、業況、売上、採算、資金繰りのDI値で前期実績を大きく上回り、従業員のDI値で前期実績を上回った。

来期は、業況、売上、採算のDI値で今期実績を上回り、従業員のDI値は今期実績横ばい、資金繰りのDI値で今期実績を下回る見通し。

指標別の状況

- 業況DI値は、前期実績▲60.0から▲21.0(39.0ポイント増)となり、来期は▲17.0(4.0ポイント増)となる見通し。
- 売上DI値は、前期実績▲66.3から▲16.0(50.3ポイント増)となり、来期は▲13.0(3.0ポイント増)となる見通し。
- 採算DI値は、前期実績▲58.9から▲25.0(33.9ポイント増)となり、来期は▲17.0(8.0ポイント増)となる見通し。
- 資金繰りDI値は、前期実績▲18.9から▲9.0(9.9ポイント増)となり、来期は▲12.0(3.0ポイント減)となる見通し。
- 従業員DI値は、前期実績▲6.3から▲9.0(2.7ポイント減)となり、来期は▲9.0(横ばい)となる見通し。

2. 前期比D I 値の分析

今期(表4、5参照)は、業況、売上、資金繰りすべてのDI値で前期実績を上回った。

指標別の状況

- 業況DI値は、前期実績▲45.3から▲9.0(36.3ポイント増)となった。
- 売上DI値は、前期実績▲53.7から3.0(56.7ポイント増)となった。
- 資金繰りDI値は、前期実績▲21.1から▲9.0(12.1ポイント増)となった。

3. 設備投資の動向

今期の設備投資は、前回調査値(20件、16事業所)に比べ、件数、事業所数ともに増加している。

- ① 今期の実績(表3参照)は28件(25事業所)。その主な内訳は、『OA機器』10件、『生産設備』6件、『工場建物』『車両・運搬具』各4件となっている。
- ② 来期の計画(表3参照)は32件(21事業所)。その主な内訳(予定)は、『生産設備』『OA機器』7件、『工場建物』6件、『車両・運搬具』5件となっている。

4. 直面している経営上の問題点

業種別の直面している経営上の問題点(表6参照)は、多くの業種で経営上の問題点の上位に『需要の停滞』、『ニーズの変化への対応』、『販売等単価の低下・上昇難』を挙げている。

業 況 レ ポ ー ト

今期については次のようなコメントをいただきました。

A社（繊維製造業〈紳士服地製造〉）

引合いが相変わらず低調で、今後も直ぐにこの状況が変わるとは考えにくい。一方、半年前に立ち上げたECサイトは少しずつ利用されるお客様が増えている。今後は、ECサイトご利用のお客様のデータを集めて分析し、今後の事業に役立てていきたい。

B社（繊維製造業〈毛糸製造〉）

緊急事態宣言の影響により、東京都内の取引先である商業施設等からの受注が減少。また、海外にも輸出しているが、北米向けのコンテナが不足状態となり、コンテナ代金が上昇し、利益を圧迫している。緊急事態宣言により休業そして人流が抑制されている間は、回復が見込めない。

C社（繊維製造業〈婦人服地製造〉）

織物業界の受注は低調であるが、高級(ブランド)品やオリジナル商品を扱う業者には、一定の注文がきている。当社はストレッチ商品に特化しているので今のところは昨年以上に受注が入っている。しかし、大型の商業施設などの休業要請が発出されるようなことがあれば影響は避けられない。

D社（卸売業〈水産資材卸〉）

水産資材業界は飲食業界に対する時短等の制限やホテルなど宿泊施設等の不振により、魚介類の動きが悪く、数量、魚価格の下落が長く続く影響で、漁業にも影響が及び結果、水産資材の販売も減少している。当社は、陸上の産業資材も扱っており、こちらの商品販売でカバーしている。

E社（サービス業〈理美容業〉）

介護施設への出張カットが制限されたことによる収入減少と、緊急事態宣言による利用控えが出ていると感じる。
一方、店内で販売する理美容商品の販売は好調なので、ニーズを読んで勧めている。

F社（小売業〈仏壇販売〉）

法事の簡素化や取りやめなど、仏事・仏具の市場全般が縮小傾向にあるところに、コロナウイルスによる影響で、更にこの縮小傾向が加速している。この先、コロナが治まっても仏具等への消費が戻る可能性は低く、今後益々厳しい業界になっていく。

G社（建設業〈屋根・外壁工事〉）

住宅の柱などに使うスギの木が(高騰する)ウッドショックの影響を受け、住宅建設業界は大きな打撃を受け、当社の受注にも影響が出ている。今後、今回の状況が改善されても、厳しい状況が続くと予想されるため、BtoBオンリーから BtoC も含めた営業も考えていきたい。

H社（サービス業〈エステサロン〉）

幸い当サロンでは、新型コロナウイルス感染症に伴う影響は特になく、予約のキャンセルなく、寧ろ外出に制限がかかる中、行くところがないから、ゆっくりされるために来店されるお客様が増えているサロン内のコロナ感染対策を徹底して行うことによって来客数は維持できる見通し。

景況の推移

表 1

～ 前年同期比～

	R2. 4～6月	R2. 7～9月	R2. 10～12月	R3. 1～3月	今 期 R3. 4～6月	来期の見通し R3. 7～9月
業 況	▲71.4	▲70.7	▲63.9	▲60.0	▲21.0	▲17.0
売 上	▲70.4	▲69.7	▲71.1	▲66.3	▲16.0	▲13.0
採 算	▲63.3	▲67.7	▲59.8	▲58.9	▲25.0	▲17.0
資金繰り	▲44.9	▲27.3	▲23.7	▲18.9	▲ 9.0	▲12.0
従 業 員	▲ 6.1	▲12.1	▲ 9.3	▲ 6.3	▲ 9.0	▲ 9.0

業種別集計表 ～ 前年同期比 ～

表 2

	事業所数	12	37	10	16	25	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	3 (1)	8 (7)	0 (2)	2 (1)	5 (5)	18 (16)	▲ 21.0 (▲17.0)
	不変	7 (6)	7 (19)	5 (4)	11 (11)	13 (11)	43 (51)	
	悪化	2 (5)	22 (11)	5 (4)	3 (4)	7 (9)	39 (33)	
売上	増加	5 (2)	8 (10)	0 (3)	8 (3)	10 (8)	31 (26)	▲ 16.0 (▲13.0)
	不変	4 (4)	7 (16)	3 (2)	3 (6)	5 (7)	22 (35)	
	減少	3 (6)	22 (11)	7 (5)	5 (7)	10 (10)	47 (39)	
採算	好転	1 (2)	6 (7)	0 (1)	2 (1)	6 (4)	15 (15)	▲ 25.0 (▲17.0)
	不変	8 (6)	11 (17)	4 (5)	10 (10)	12 (15)	45 (53)	
	悪化	3 (4)	20 (13)	6 (4)	4 (5)	7 (6)	40 (32)	
資金繰り	好転	1 (2)	3 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (3)	5 (7)	▲ 9.0 (▲12.0)
	不変	11 (9)	29 (28)	9 (8)	12 (12)	20 (17)	81 (74)	
	悪化	0 (1)	5 (7)	1 (2)	4 (4)	4 (5)	14 (19)	
従業員	増加	1 (0)	2 (3)	1 (1)	3 (3)	2 (1)	9 (8)	▲ 9.0 (▲9.0)
	不変	9 (11)	28 (27)	9 (9)	11 (12)	16 (16)	73 (75)	
	減少	2 (1)	7 (7)	0 (0)	2 (1)	7 (8)	18 (17)	

※ 採算は経常利益で判断

※ () 内は来期

新規設備投資集計表

表 3

設備投資	今期	実施した ※1	25	来期	計画している ※2	21
	(事業所数)	実施していない	75	(事業所数)	計画していない	79

	※ 1	※ 2		※ 1	※ 2
1. 土地	0 件	2 件	5. 付帯施設	2 件	1 件
2. 工場建物	4 件	6 件	6. O A 機器	10 件	7 件
3. 生産設備	6 件	7 件	7. 福利厚生施設	0 件	1 件
4. 車両・運搬具	4 件	5 件	8. その他	2 件	3 件
			合計	28 件	32 件

複数回答可

景況の推移

表 4

～ 前 期 比 ～

	R2.4～6月	R2.7～9月	R2.10～12月	R3.1～3月	今 期 R3.4～6月
業 況	▲72.4	▲48.5	▲38.1	▲45.3	▲ 9.0
売 上	▲59.2	▲47.5	▲34.0	▲53.7	3.0
資金繰り	▲39.8	▲23.2	▲12.4	▲21.1	▲ 9.0

業種別集計表

表 5

～ 前 期 比 ～

	事業所数	12	37	10	16	25	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業 況	好 転	1	9	1	1	7	19	▲ 9.0
	不 変	9	16	3	12	13	53	
	悪 化	2	12	6	3	5	28	
売 上	増 加	3	17	2	5	10	37	3.0
	不 変	7	10	0	5	7	29	
	減 少	2	10	8	6	8	34	
資 金 繰 り	好 転	1	2	0	0	2	5	▲ 9.0
	不 変	11	29	9	12	20	81	
	悪 化	0	6	1	4	3	14	

『直面している経営上の問題点』の集計表

表 6

(業種別上位3位)

業 種 順位	内 容		
	1 位	2 位	3 位
建設業	○民間需要の停滞	○従業員の確保難 ○官公需要の停滞	○請負単価の低下・ 上昇難
製造業	○需要の停滞	○製品(加工)単価の 低下・上昇難	○製品ニーズの 変化への対応
卸売業	○需要の停滞	○仕入単価の上昇	○人件費以外の 経費の増加
小売業	○消費者ニーズの 変化への対応	○仕入単価の上昇	○販売単価の低下・ 上昇難
サービス業	○従業員の確保難	○利用者ニーズの 変化への対応 ○需要の停滞	○利用料金の低下・ 上昇難

『直面している経営上の問題点』の集計表

建設業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
材料価格の上昇	8
材料の入手難	1
人件費の増加	0
材料費・人件費以外の経費の増加	3
請負単価の低下・上昇難	10
下請単価の上昇	2
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	11
熟練技術者の確保難	1
下請業者の確保難	1
官公需要の停滞	11
民間需要の停滞	12
その他 (人材育成)	3
合 計	63

製造業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	1
新規参入業者の増加	0
製品ニーズの変化への対応	27
生産設備の不足・老朽化	16
生産設備の過剰	1
原材料価格の上昇	19
原材料の不足	2
人件費の増加	6
原材料費・人件費以外の経費の増加	6
製品(加工)単価の低下・上昇難	28
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	5
事業資金の借入難	4
従業員の確保難	9
熟練技術者の確保難	10
需要の停滞	64
その他 (コロナの影響、コロナ禍による売上減少、コロナ禍による受注減)	7
合 計	205

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

卸売業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	4
メーカーの進出による競争の激化	0
小売業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	3
商品在庫の過剰	0
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	5
販売単価の低下・上昇難	3
仕入単価の上昇	10
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	3
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	0
需要の停滞	23
その他	0
合 計	51

小売業

内 容	ポイント
大型店・中型店の進出による競争の激化	6
同業者の進出	8
購買力の他地域への流出	3
消費者ニーズの変化への対応	16
店舗の狭隘・老朽化	4
駐車場の確保難	0
商品在庫の過剰	0
人件費の増加	4
人件費以外の経費の増加	3
販売単価の低下・上昇難	11
仕入単価の上昇	13
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	1
従業員の確保難	0
需要の停滞	9
その他 (コロナ)	3
合 計	81

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

サービス業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	6
利用者ニーズの変化への対応	21
店舗施設の狭隘・老朽化	8
人件費の増加	9
人件費以外の経費の増加	3
利用料金の低下・上昇難	10
材料等仕入単価の上昇	5
金利負担の増加	0
事業資金の借入難	1
従業員の確保難	23
熟練技術者の確保難	8
需要の停滞	21
その他 (高齢化、コロナによる介護施設の訪問カットの減少、販売する商品 コロナによる欠品の影響)	5
合 計	120

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

景況 DI (全業種) - 前年同期比 -

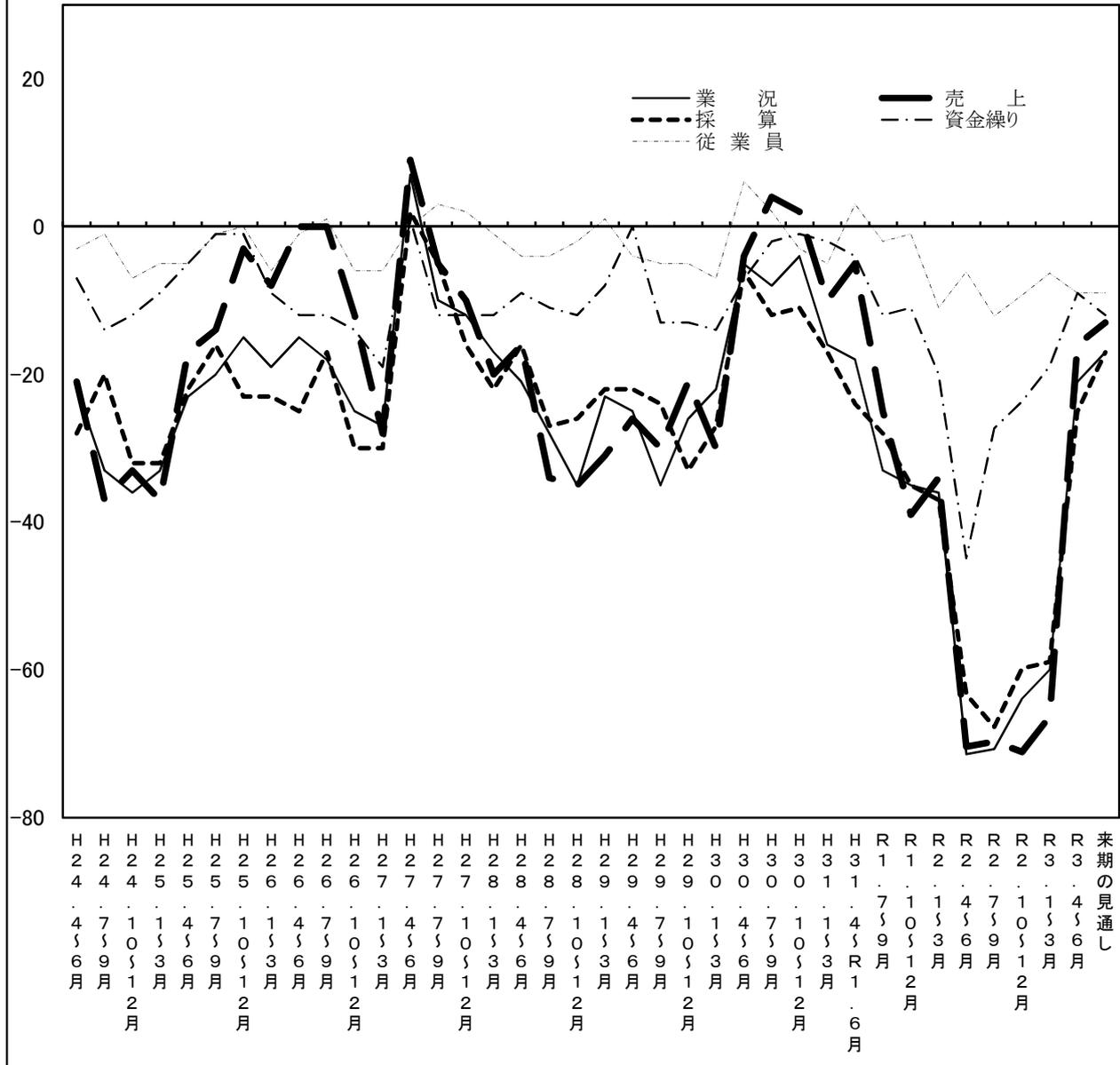


図 2

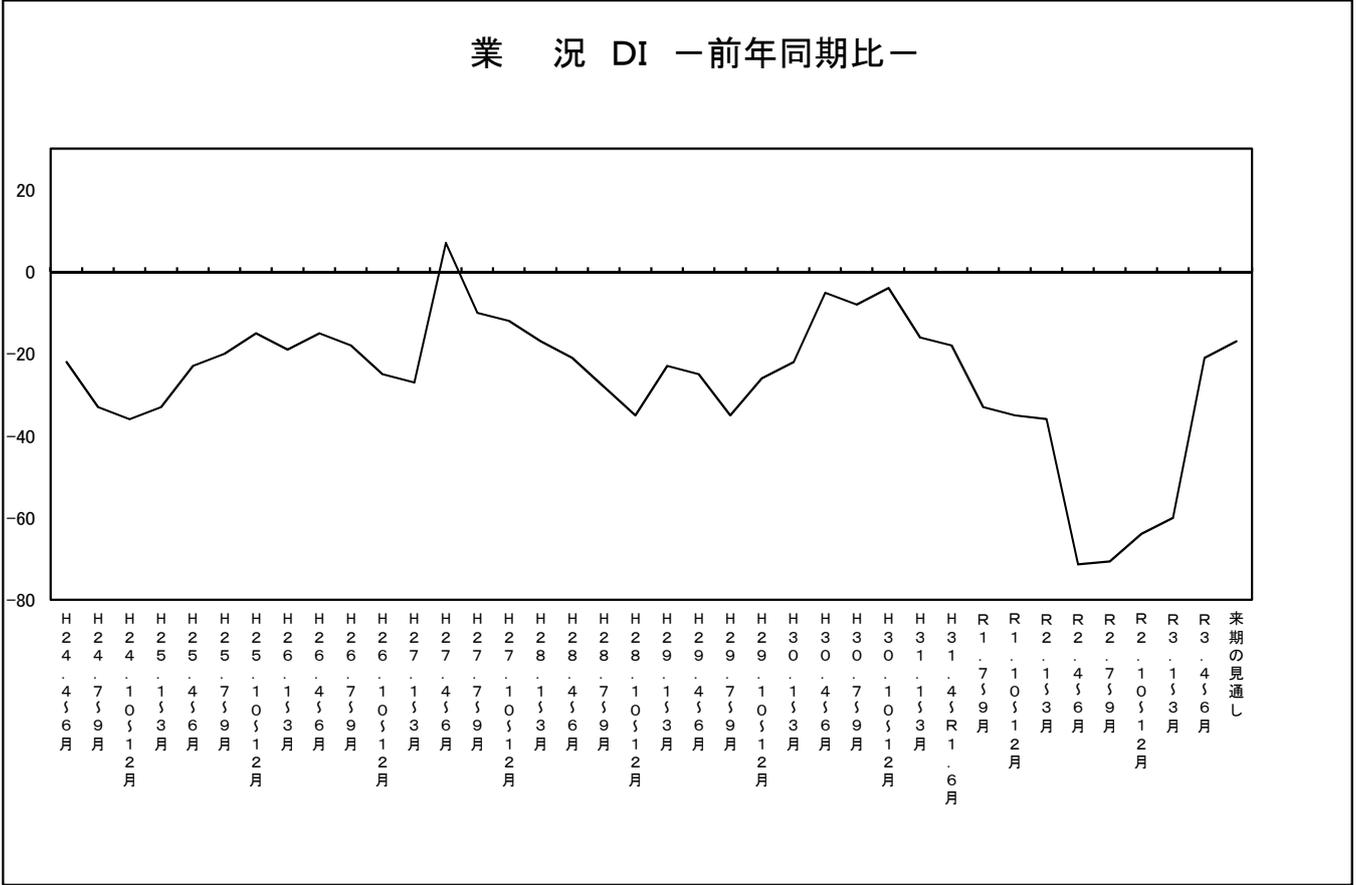


図 3

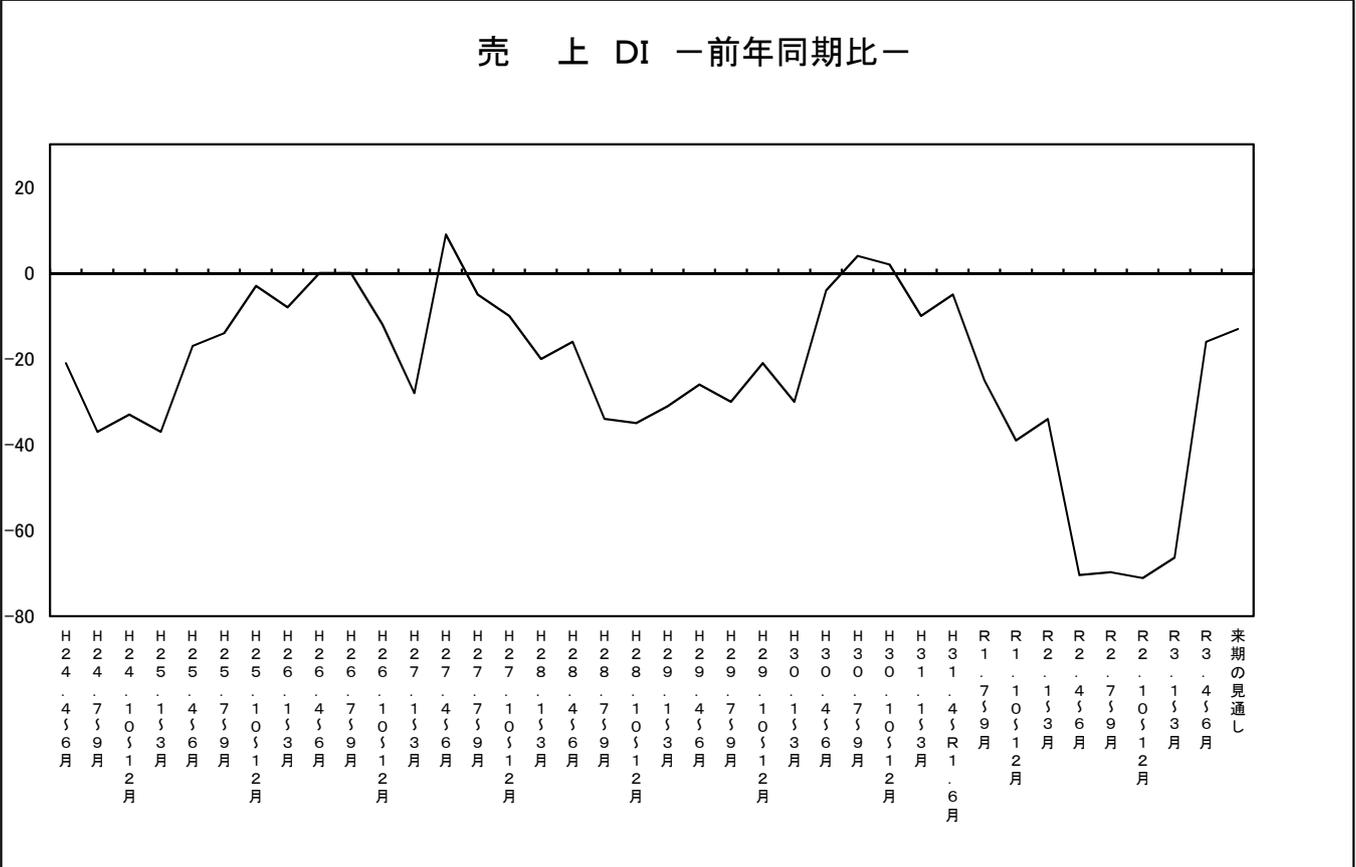


図 4

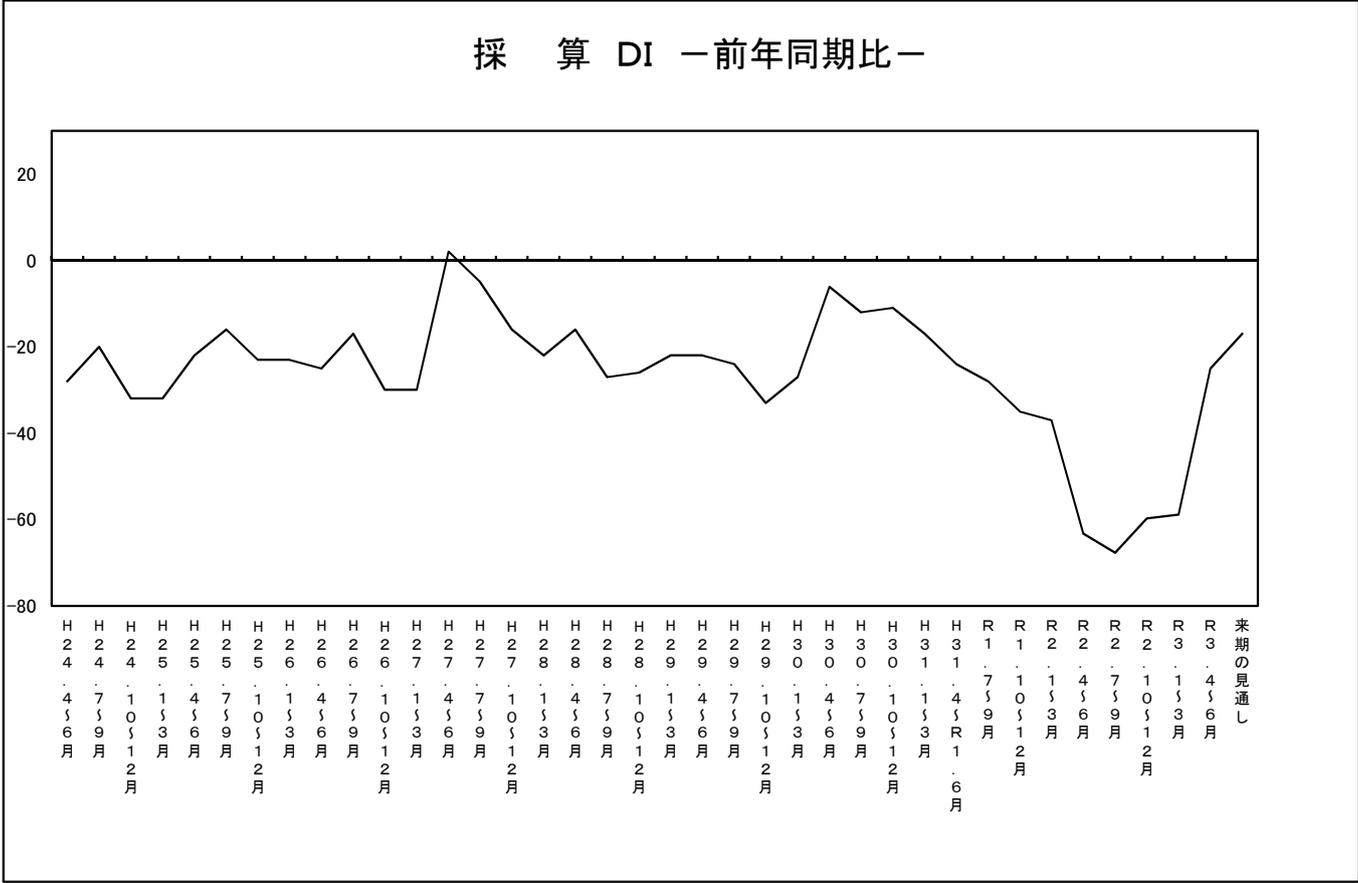
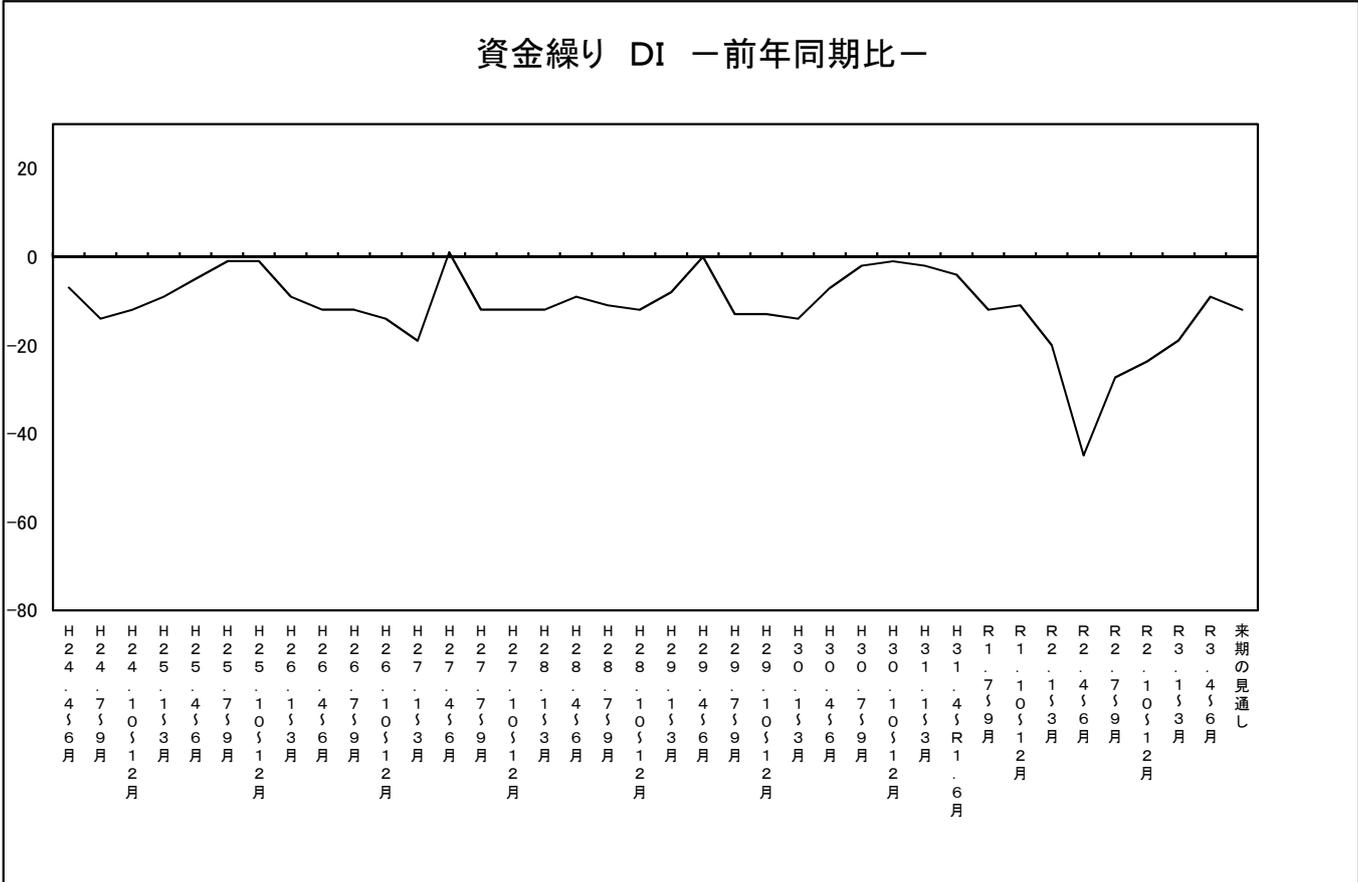
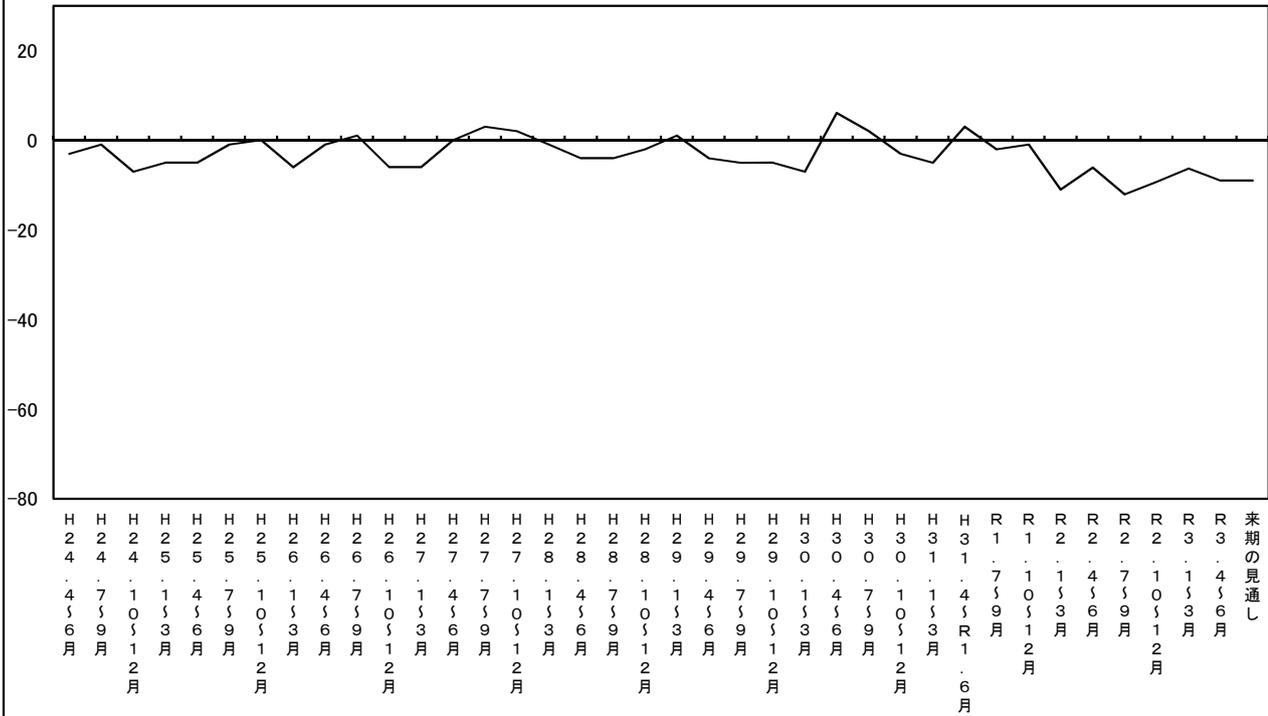


図 5



従業員 DI - 前年同期比 -





一 宮 商 工 会 議 所
中 小 企 業 相 談 所

一宮市栄四丁目6番8号 (〒491-0858)

T E L (0586) 72-4611

F A X (0586) 72-4411

U R L <http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

E-mail soudan@ichinomiya-cci.or.jp